

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

3 (1) 国土強靱化に関する施策のデジタル化

(2) 伝達の高情報化の予測、収集・集積

# 矯正施設を耐震改修し、大規模地震時の被害を軽減する (富山県富山市)

事業者：法務省 富山刑務所

## <庁舎の現行耐震基準を確保(鉄骨造の耐震ブレースの設置)するための耐震補強>



対策前



対策後

## <処遇事務所の現行耐震基準を確保(鉄筋コンクリート造の耐力壁に改修)するための耐震補強>



対策前



対策後

### 対策名：27 矯正施設の防災・減災対策

主たる施策グループ：3-1) 被災による司法機能、警察機能の大幅な低下による治安の悪化、社会の混乱



### 事業名：富山刑務所の庁舎等の耐震改修工事

- ポイント**
- 現行の耐震基準を確保するために庁舎等の耐震補強を実施
  - 建物及び人的被害を未然に防止し、職員及び被収容者等の安全を確保

#### 地域の概要・課題

全国276庁の矯正施設のうち約40%が現行の耐震基準制定前の建物であるため、現行の耐震基準を満たしていないことが判明した建物については耐震改修等の対策が必要でした。

調査の結果、富山刑務所の庁舎等は現行の耐震基準を満たしていなかったため、大規模地震発生時に倒壊・崩壊のおそれがあったことから早急な対策が課題でした。

#### 事業の概要

現行の耐震基準を満たし、大規模地震による被害を未然に防止するため、鉄骨造の耐震ブレースの設置や鉄筋コンクリート造の耐力壁に改修するなど、庁舎等の耐震補強を実施しました。

#### 効果

令和6年1月に発生した令和6年能登半島地震では、富山市で震度5強を観測しましたが、建物及び人的被害は発生せず、災害時においても、職員、被収容者の生命・身体の安全を確保するとともに、被収容者の逃走などの保安事故を防止することができました。

矯正施設の耐震化率進捗状況

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実績	%	85	86	87